



第91期 株主通信

2014年1月1日から2014年12月31日まで

サッポロホールディングス株式会社

戦略の確実な実行と 成果の実現を目指して

2014年の通期決算は、国内や北米での天候不順、原料高騰等の外部環境変化や「サッポロ 極ZERO」一時終売など予期せぬ厳しい事業環境のなか、売上は5期連続増収の5,187億円、営業利益は147億円と目標の150億円まであとわずかという結果となりました。食品・飲料事業では統合2年目で営業黒字を回復し、これにより5事業すべてで営業黒字を達成しました。

本年2月、2007年に発表した「サッポログループ新経営構想」の目標年度である2016年までの残り2年を対象とした「サッポログループ経営計画2015年—2016年」を策定しました。持続的な成長の実現に向けてさらに体質を強化し、特徴のある「食のメーカー」として存在感を示していきます。

株主の皆様には、今後のサッポログループの取り組みにご注目いただくとともに、引き続きご支援を賜りたく、お願い申し上げます。

代表取締役社長 兼 グループ CEO

上條 賢

- [01] ごあいさつ
- [02] トップインタビュー
- [05] サッポログループ 事業別トピックス
- [13] サッポログループのCSR活動

- [14] サッポログループの動き
- [15] 事業の概況／連結決算概要
- [17] 会社情報／株主情報

食のメーカーとして、 新しい“価値”を提供し続ける。

Q1

2014年度の業績について
どのように評価されていますか？

A

ほぼ計画通りに施策を進捗させ、
利益計上を果たすことができました。

営業利益・経常利益は、当初計画水準の利益を上げることができました。当期純利益については、「サッポロ 極ZERO」の自主的な酒税の追加納付に伴う特別損失の計上(*)により当初計画を大幅に下回ったものの、黒字で着地させることができました。消費税率引き上げ、夏場の天候不順など外部環境の影響も各種施策の奏功で最小限にとどめ、各事業における取り組みは、ほぼ計画通りの進捗を果たすことができたと評価しています。

Q2

具体的に、事業ごとの成果について
ご説明いただけますか？

A

ビールの国内シェアが3年連続で拡大するなど
各事業で確かな手応えを得ています。

国内酒類事業では、ビール類において3年連続で売上伸長とシェア拡大を実現するとともに、発泡酒として再発売を行った「サッポロ 極ZERO」は、消費者の皆様のご支持を得て1カ月のブランクも克服し、年度初めに掲げた販売計画を上回ることができました。また、ワインや焼酎など商品の多層化も計画通りに進み、順調な伸びを示しています。

国際事業では、カナダの価格競争激化や米国の寒波などもあり年初に苦戦しましたが、後半には落ち着いてきています。また、ベトナムのビール事業



エビスビール



サッポロ生ビール
黒ラベル



サッポロ 極ZERO



麦とホップ
The gold

*「サッポロ 極ZERO」の税率適用区分を自主的に修正申告したことに伴う酒税納付額の差額(含む延滞税)116億円を計上したものの、「サッポロ 極ZERO」は、2013年6月に“新ジャンル商品”として発売しましたが、酒税の税率適用区分に関連して国税当局より製造方法に関する情報提供の要請を受け2014年5月製造分出荷終了時点で一旦終売し、製造方法を一部見直し7月より“発泡酒”として再発売しました。当初より当社では新ジャンル商品に該当していると認識しており、社内での自主的な検証作業を終えたことから、1月26日に酒税差額である約115億円の還付を求める「更正の請求」を実施しました。

トップインタビュー

あなたのマイカフェになる。



銀座ライオン 秋葉原ラゾウ会館店
(2014年7月開店)



銀座5丁目再開発計画(外観イメージ)

*銀座の中心である銀座四丁目交差点に面する敷地面積約644㎡において進めている再開発計画

は、飲食店で「SAPPORO」ブランドを選んでいただけるお客様が順調に増え、前年比3割以上の伸びとなりました。昨年末には、新たに米国の業務用果汁飲料大手を豊田通商グループとともにM&Aにて取得することを決め、北米における飲料事業の成長基盤の強化に手を打っています。

食品・飲料事業は、経営統合によりポッカサッポロフード&ビバレッジ社が誕生して2年目の年でした。国内飲料は、自動販売機において消費税率引き上げ等の影響が出ましたが、国内食品はレモンに注力した商品開発やスープの好業績持続など順調に推移し、計画通りに着地しました。東南アジアでの展開も、昨年10月からのポッカ・マレーシア工場の稼働により、製造能力の拡大が軌道に乗り始めています。さらに、国内で展開するカフェチェーン「カフェ・ド・クリエ」は、病院内や郊外型などの新型店舗にチャレンジしていきます。

外食事業では、円安による輸入材料価格や人件費の上昇など複合的なコスト上昇に耐えねばならない1年でした。しかし、国内外でビヤホール業態「銀座ライオン」や「エビスバー」の展開により、独自の地位確立が進み、利用者の増加が着実に進んでいます。今後は、小規模店舗を含め様々なバリエーションでの出店を増やしていきます。

不動産事業では、恵比寿ガーデンプレイスにおいて占有比率の高いテナントの契約終了はありましたが、現在は順調に稼働率が回復しています。また、「銀座5丁目再開発計画(*)」に着手し、来年5月の竣工に向けて銀座のランドマークにふさわしい施設となることを目指しています。

Q3

今後の経営において重視していきたいポイントを教えてください。

A

「食のメーカー」として、新しい“価値”を提供し続けていきます。

今後の事業展開においては、「食のメーカー」であり続けるべく、グループの持てる技術を最大限に活かし、消費者に楽しんでいただける新しい“価値”を提供し続けることにこだわりを持って取り組んでいきます。

主力の国内酒類事業では、基幹ブランドである「エビス」「サッポロ生ビー

ル黒ラベル]「麦とホップ The gold」「サッポロ 極ZERO」の幹をさらに太くしていくことを基本としながら、お客様のご要望に応じた様々な種類のビールの展開も図ります。

また、グループ横断的な研究開発体制により、技術開発面でのグループシナジー最大化を図っていきます。たとえば、ホップの香りを飲料へ、あるいはレモンの技術力を酒類へ、といった展開の加速です。

大麦やホップなどのビール原料については、自ら育種を行い、2006年以来約10年にわたって農家との協働契約栽培の体制を整備・強化してきました。こうした取り組みは、たとえ当社の後に続く会社がなくともポリシーとして続け、レモンについては「ポッカレモン」の圧倒的なブランド価値を背景に、世界一のレモン研究を進めていきます。

取り組むべきことはまだまだ山積していますが、非常に楽しみなステージに入りつつあると感じています。



協働契約栽培(ホップ農場)



素材研究を進めているレモン

Q4

長期的なビジョンを含め、最後に株主の皆様メッセージをお願いします。

A

次の長期経営構想における成長加速を見据え、まずは足元の目標達成に邁進します。

サッポログループは現在、コスト競争力を磨き、グループシナジー強化を図っています。来年までは不動産事業での保有物件再開発のために一時的ですが収益力が落ちます。また、将来のための戦略投資を継続することも考えています。しかし、次の長期経営構想へと着実に繋げるためにも、まずは創業140周年となる2016年の経営目標達成に邁進していきます。

創業150周年にあたる2026年に向けて、サッポログループは「新しいNo.1」となる商品・サービスの創造と提供を積み重ねていくというビジョンを追求していきます。そして特に、成長市場と位置づけられる海外展開については、北米や東南アジアへの集中度をさらに上げて成長の加速を図っていきたく考えています。

株主の皆様には、引き続きご理解、ご支援をお願い申し上げます。

新経営構想



2015年2月中旬製造分～

RENEWAL 「サッポロ生ビール 黒ラベル」

生ビールのうまさNo.1を目指し、
4年ぶりにリニューアル!



ビール好きの大人に愛される、「サッポロ生ビール黒ラベル」の魅力をより多くのお客様に知っていただくために、様々なお客様接点における情報発信を強化します。2015年の黒ラベルにぜひご期待ください!

ブランド担当:
サッポロビール
ブランド戦略部
武内 亮人



1977年発売の「サッポロ生ビール黒ラベル」はロングセラーブランドとして確固たる地位を確立しています。発売以来こだわり続けてきた「生のうまさ」という独自価値をさらに強化するため、4年ぶりにリニューアルしました。

「旨さ長持ち麦芽」を増量し、黒ラベルならではの「麦のうまみと爽やかな後味のベストバランス」に、さらに磨きをかけることで、ビール好きをうならせる“理想の生”を実現しています。CMは「大人の☆生」を継続訴求するため、妻夫木聡さんを起用しました。

進化し続ける黒ラベルは、ますますお客様の乾杯を美味しくします!

2015年3月10日～

NEW 「サッポロ グリーンアロマ」

ボタニカル由来の香りが特長の
機能系新ジャンル

3種類のボタニカル(注1)素材(ホップ・コリアンダーシード・オレンジピール)由来の香り成分「リナロール(注2)」を多く含むリラックスを感じ



られる香り、そして体を気遣いながらもおいしさを求める女性を意識した糖質80%オフ(注3)のライトな味わいが特長です。

女性の社会進出が目覚ましい現代社会において、女性のストレスは増加しているといわれており、手軽にストレス発散効果が期待できる香り商品や、緩やかな癒しを感じる事の出来る自然由来のモノを好む傾向にあるようです。このような背景を受け、女性にニーズに応える新しいコンセプトを持った商品です。

自分の時間を大切にするアクティブな女性のリラックスタイムに、「ボタニカルのチカラ」を感じていただきたい商品です。3種のボタニカル素材由来の爽やかな香りを、ぜひお楽しみください。

- (注1) 植物
- (注2) リラックス感を得ることが出来るといわれている香り成分。ローズウッドや、ラベンダーなどの植物の精油に含まれている。
- (注3) 発泡酒をベースとした当社リキュール(発泡性)の比

ブランド担当:
サッポロビール
ブランド戦略部
福吉 敬



2015年3月31日～

NEW

「グランポレール 安曇野池田 ヴィンヤード」

安曇野池田
ヴィンヤード
メリタージュ
2012



待望の新アイテム 3商品が登場!

「グランポレール」は、世界に誇れる日本のワインづくりを追求した商品です。本年は新商品を発売しお客様に新たな価値を提供していきます。

ブランド担当:
サッポロビール
ワイン戦略部

藤原 栄里子



近年ますます注目が高まる日本ワイン。昨年も「グランポレール」の売上は、前年比約120%と大変好調でした。

今年は日本ワインの品質をリードするブランドとして新たなステージに踏み出します。

3月31日には長野県北安曇野郡池田町の自社畑「安曇野池田ヴィンヤード」のぶどうを100%使用した初の商品となる「安曇野池田ヴィンヤード」“シャルドネ”“シラー”“メリタージュ”の3アイテムが登場です! 国内外のコンクールで数々の受賞を誇り品質の高さに定評のあるグランポレール。

中でもこの商品は最高品質のぶどうを使用し、つくり手のこだわりを凝縮させた当社の自信作です。

ぜひ一度お試しください。

好調

「サッポロ 男梅サワー」

本商品は、お客様の声が後押しとなり、2013年9月に通年販売となった商品です。

これまでのチューハイにはなかった商品特長である「しよっぱい旨さ」を家庭用、業務用問わずお客様に楽しんでいただける提案を実施してきたことで話題が広がり人気商品となりました。

7月に上方修正した100万ケースも見事突破しました。現在も大変好調に推移しています。

上方修正目標の
100万
ケース突破



ノーベル製菓㈱と協働して商品開発・販促提案を行ってきたことで多くのお客様からご愛飲をいただき、看板商品となりました。ご家庭でも飲食店でも幅広いシーンで男梅サワーをぜひお楽しみください!

ブランド担当:

サッポロビール スピリッツ戦略部

伊藤 寿俊



ポッカサッポロ
フード&ビバレッジ

ミャンマーの「POKKAブランド」

地元企業でライセンス生産へ

起工式：2014年11月20日

ミャンマーではかねてからPOKKAブランドの各種飲料を販売してきました。ミャンマーでの一層の拡販を狙い、現地代理店がミャンマー国内に工場を建設してPOKKAブランドの果汁製品のライセンス生産を行うことになり、11月に起工式が行われました。

新工場の起工式の様子



ポッカサッポロ
フード&ビバレッジ

ポッカ・マレーシア工場

稼働開始 2014年10月1日



サッポロライオン

「銀座ライオン」海外2号店 シンガポール・サンテックシティにオープン!!

2014年10月10日



GINZA LION BEER HALL
2号店(サンテックシティ店)



サッポロライオンシンガポールは、「銀座ライオン」の海外ブランド「GINZA LION BEER HALL」の2号店を、2014年10月、中央ビジネス地区に近く、観光客にも人気の高い大型複合施設「サンテックシティ」内にオープンしました。「ビヤホール文化を世界へ」をキーワードに、サッポロライオン伝統の注出技術「一度注ぎ」による生ビールやグリル料理、おもてなしの心が感じられるサービスで、「ビヤホール」の楽しさを発信していきます。

MEMO

MEMO

シンガポール駐在員事務所

サッポロホールディングス

サッポロホールディングスは、2014年5月に「シンガポール駐在員事務所」を新設しました。これは、ポッカサッポロ、サッポロライオン、サッポロインターナショナルなどが展開している東南アジアでの情報収集や市場調査を通して、サッポログループ全体としてアジアでの成長を加速させることを目指しています。



SLEEMAN「バーノン工場」

売上拡大に対応し、生産能力増強予定

2015年

SLEEMANバーノン工場の生産能力増強を決定しました。1996年Okanagan Spring Brewery社買収当時の製造量は1万KL程でしたが、カナダ国内生産体制最適化、売上拡大継続により、現在の製造量は能力上限の5万KLに達しました。様々な取り組み・検討の結果、20%の能力増強が可能となりました。この増強で、カナダ西部での成長をカバーできる製造能力を確保できます。これからもカナダの販売拡大に取り組んでいきます。

バーノン工場(カナダ)



シャンプリー工場
(カナダ)

バーノン工場
(カナダ)

ゲルフ工場
(カナダ)

サッポロ
インターナショナル

米国飲料事業を M&Aにて強化

業務用果汁飲料大手 **2015年**
カントリーピュアフーズ社が
傘下に

豊田通商グループと共同取得したカントリーピュアフーズ社をサッポログループの仲間に加えることとなります。米国で果汁飲料製造を行うシルバースプリングスシトラス社とのシナジー最大化を図り、北米における国際事業の成長を加速させます。



サッポロ ベトナム
Sales & Marketing Division
Marketing Department
Brand Marketing Officer

Van Tien Thanh



ホーチミン市における マーケティング活動を積極的に行っています

12月31日、ホーチミン市7区で開催された2つの大規模なカウントダウンイベントに協賛しました。新年に向けたイルミネーションイベント(*)と若者に人気の年末音楽イベント「Escape」です。合わせて約3万人が来場し、これから大きな成長を目指すサッポロベトナム社にとっても記念すべきイベントになりました。

*表紙は12月31日に実施されたカウントダウンの様子

2015年3月30日～

NEW 「キレートレモン エナジエ」 キレートレモンから大人の女性のためのエナジードリンクが新発売



海外ブランド製品がエナジードリンク市場を牽引する中、その安全性や味覚、デザイン等で手に取りづらいという女性が多くいることが調査の過程でわかりました。

キレートレモンブランドとすることで商品の確かさを保証しており、リキャップできるボトルで化粧品のよな品質感とエナジーの力強さを共存させたデザインに仕上げました。

レモン1.4個分の果汁のすっきりとした美味しさに、クエン酸2000mg/ビタミンC1000mgだけではなく、ローヤルゼリーも配合しています。さらにカロリーオフでカフェインゼロ。

女性のエナジードリンクといえば「キレートレモンエナジエ」と言ってもらえるような商品を目指していきます。

男性並みにニーズは存在するのに実際には購入していない、その未充足ニーズを徹底的に突き詰め、女性でも安心して手に取ることができる、大人の女性のためのエナジードリンクを開発しました。

ブランド担当：
ポッカサッポロ
フード&ビバレッジ
レモン・ナチュラルフード
戦略部

濱本 紀代美



Pick-up 1 >>> サッポログループの「**研究開発**」を紹介します

JSA 「**日本農芸化学技術賞**」 サッポログループ内で **W** 受賞の快挙!

サッポロビールとポッカサッポロフード&ビバレッジは、公益社団法人日本農芸化学会より、2015年度農芸化学技術賞を同時受賞しました。同賞は「農芸化学分野において注目すべき技術的業績をあげた正会員に授与」されるもので、極めて権威ある賞です。同一企業グループ内での同時受賞は、同賞初の快挙となりました。



サッポロ生ビール
黒ラベル

サッポロビール(株) 受賞論文表題
「**ビール泡品質向上への一貫した取組み**」

ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株) 受賞論文表題
「**交流高電界殺菌法を利用した
果汁製品の製造**」



ポッカレモン100
120ml

2015年3月16日～

RENEWAL

「がぶ飲み」



“がぶ飲みブランド”がおかげさまで20周年を迎えます

1995年4月に発売した‘340g 缶 がぶ飲みミルクコーヒー’から20年。以来、独特のフレーバーと味覚が特徴で、‘楽しみながらがぶがぶ飲める’と主に中高生から支持いただいていた“がぶ飲みブランド”が20周年を迎えてさらに進化を図ります。



激動の飲料市場において、“がぶ飲み”のユニークな味わいとデザインは、多くのお客様に親しまれています。今後も「新しいこと・おもしろいこと・楽しいこと」を追求し、更なるロングセラーブランドへと成長させていきたいと思えます。

懐かしさがありながら新しい見せ方で今なお定着している‘フロード’の味わいを実現した乳性炭酸飲料“メロンクリームソーダ”を軸に、“がぶ飲み”らしいユニークな商品展開と20周年ならではのプロモーション展開で、中高生の身近な飲料として独自性のあるポジションを確立していきます。

ブランド担当：
ポッカサッポロ
フード&ビバレッジ
飲料ブランド戦略部

森下 淳



サッポロビール



ポッカサッポロ
フード&ビバレッジ

サッポログループの研究開発体制「サッポロイノベーションラボ」立ち上げ

サッポロイノベーションラボ

サッポロビール

- 価値創造フロンティア研究所
- バイオ研究開発部
- 商品・技術イノベーション部



価値創造フロンティア研究所

ポッカサッポロ フード&ビバレッジ

- 中央研究所
- 味の科学研究所



中央研究所

2014年3月、サッポロビールとポッカサッポロフード&ビバレッジの研究開発部門のメンバーにより構成されたグループ横断的な研究開発体制、「サッポロイノベーションラボ」を立ち上げました。サッポログループは、「食のメーカー」としての成長加速に必要な食品価値創造のための組織強化を図っています。

2014年12月1日～

「クラブ LION CARD」

食べて 飲んで 楽しんで ポイントが貯まる!
サッポロライオンの新ポイントカード誕生!



サッポロライオンは、2014年12月より全国のサッポロライオン各店舗（一部店舗除く）でご利用いただける新しいポイントカード「クラブ LION CARD」を導入しました。

お会計時に「クラブ LION CARD」をご提示いただくと、ご利用代金に応じて100円（税抜）毎に5ポイントが加算され、累計2,000ポイントに達成すると、2,000円分の割引サービス券が発行されます。ご宴会の幹事様は非常にポイントが貯まりやすいお得なポイントカードです。サッポロライオン各店舗の店頭にて、即日ご入会、ご利用いただけます。なお、1月末現在で約5万人のお客様にご入会いただいています。この「クラブ LION CARD」導入により、サッポロライオンファンの更なる獲得を目指します。



※ご利用の詳細はホームページをご確認ください。



Pick-up 2 >>> サッポログループの「ネットショップ」を紹介します



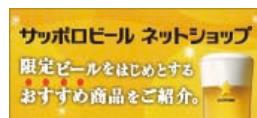
「サッポログループ ネットショップ」トップページ

現在8つのショップを展開

「日本ワイン専門店 グランポレールショップ」は、2014年10月にオープンした新ショップ



ポッカサッポロ ネットショップ



サッポロビール ネットショップ



わくわくブルフリー

「恵比寿ガーデンプレイス」

～魅力あふれる大人な街を目指して～

恵比寿ガーデンプレイスは、ブランドメッセージ「恵比寿。あなたは、大人の街になれ。」を掲げ、今年3月28日に新しいコンセプトの映画館「YEBISU GARDEN CINEMA」をオープンしました。またスカイウォークに続く地下1階飲食商業エリア、グラススクエアを6月にリニューアルオープンいたします。

今後も皆様に新しい価値を提案し、これまで以上に「豊かな時間」「豊かな空間」を感じていただけるよう、魅力的な街づくりに努めていきます。



恵比寿ガーデンシネマ



グラススクエア

サッポロ不動産開発
恵比寿事業本部
企画部

大木 梨江



WEBサイトはこちら

▶ <http://www.sp-mall.jp/>

サッポログループの様々なネットショップが集まったショッピングモールである「サッポログループネットショップ」は、一昨年11月にオープンして以降順次ショップが増え、現在では8つのショップでサッポログループの様々な商品を購入いただけるようになりました。おなじみの商品やネット通販限定商品の販売のほか、会員登録すると会

員向け特別価格の商品を購入できたり、モール内のどのショップでも利用いただける共通ポイントが付与されるなど、お客様のニーズに応じた商品やサービスを提供しています。今後も、更なる利便性の向上やサービス機能の強化を図り、グループシナジーを発揮した新たな価値提案を行っていきます。皆さまのご利用を心よりお待ちしております。



日本ワイン専門店 グランボレーショップ



銀座ライオン 味の直送便



WINE MARKET PARTY



フランスワイン専門店 ラ・ヴィネ



ブルーシールアイス 公式通販サイト

投資家向け環境情報開示で 食品業界最高得点を 3年連続で獲得

CDLI2014ロゴ



サッポロホールディングスは、国際環境NGO「CDP」が2014年に実施した「気候変動に関する調査」で、100点満点中99点を獲得しました。食品業界では、3年連続の最高得点となるとともに、気候変動情報開示先進企業を意味する「CDLI(クライメート・ディスクロージャー・リーダーシップ・インデックス)」に3年連続で選定されました。気候変動への世界的な意識の高まりの中、当社は誠実な環境情報開示を継続していきます。



左から、サッポロビール高島常務執行役員、北海道 高橋知事、コープさっぽろ大見理事長

「カーボン・オフセット」とは…



自らが排出したCO₂を、他の場所で削減された量や、吸収された量を購入することで相殺する方法

CSRレポート発行のお知らせ

サッポログループの2014年のCSR活動をご紹介します「サッポログループCSRレポート2015」は5月にサッポロホールディングスホームページに掲載する予定です。冊子版をご希望の株主様は、外部サイト「エコほっとライン」からお申し込みください。(5月以降発送の予定です。)



詳細はこちら

サッポロ CSR

検索

「北海道の森を元気にしよう！」 協働プロジェクトが環境大臣賞受賞

2014年7月から、サッポロビールは生活協同組合コープさっぽろ、北海道と「北海道の森を元気にしよう！」共同キャンペーン第2弾を実施しました。このキャンペーンは、対象商品をお客様がご購入いただくと1缶につきCO₂約66g、ワイン1本につきCO₂約666gをカーボン・オフセットし、北海道の森林保全活動に貢献するものです。その結果メーカー単独ではなく、流通企業や、多くの自治体を巻き込んでの環境啓発効果が高く評価され、「第4回カーボン・オフセット大賞」において環境大臣賞を受賞しました。

サッポログループの動き（2014年度 下期）



恵比寿麦酒祭り

（於：恵比寿ガーデンプレイス）9月10日～15日

サッポログループ・エビスビール・地域共生の3つの情報発信の場として昨年6回目を迎えた恵比寿麦酒祭り。天気にも恵まれ期間中約20万人のお客様に会場いただきました。



札幌麦酒祭り

7月5日～6日

（於：札幌市内2カ所）



2つの麦酒祭りの
ビール売上を寄付

サッポロ ★ 東北未来プロジェクト

被災地の放課後学校へ運営資金 約1,800万円を寄付

12月3日

恵比寿麦酒祭り、札幌麦酒祭りのビール売上金等（18,370,300円）を被災地の女川町、大槌町の放課後学校「コラボ・スクール」（認定NPO法人カタリバ）へ「ハタチ基金」を通じて本年も寄付しました。



上條社長と今村代表



2014年

7月

8月

9月

10月

11月

12月

Record

9月11日

エビスビール記念館

～見学来場者数100万人突破～

エビスビール記念館は、2010年2月25日のエビスビール生誕120年という節目に開館し、約4年半で見学来場者数100万人を達成しました。

100万人目の方は軽井沢町在住のご夫婦で、「エビスビール1年分」が贈呈されました。



これからもエビスビールの情報発信をますます強化していきます。

Anniversary

10月8日

恵比寿ガーデンプレイス

～開業20周年～

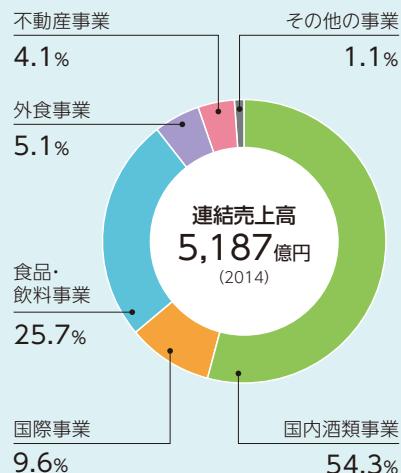


恵比寿ガーデンプレイスは、昨年10月8日開業20周年を迎えました。今後も10年、20年と時代が変わっても色褪せない街、そして皆様に愛され続ける街を目指していきます。

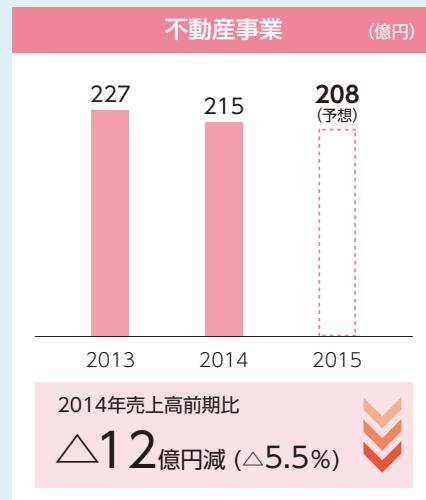
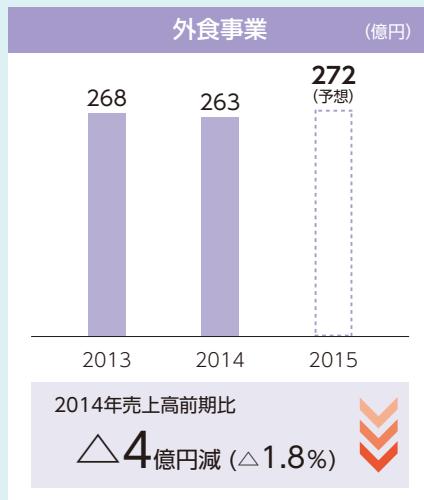
「Baccarat ETERNAL LIGHTS
— 歓びのかたち —」
恵比寿ガーデンプレイス開業20周年、
バカラ創設250周年共同事業
（森田恭通氏デザイン）

事業の概況／連結決算概要

■ セグメント別売上高構成比



■ セグメント別売上高



詳細は当社ホームページをご覧ください。

🔍 サUPPORT IR

検索

■ 連結財務ハイライト (億円)

	2013	2014	2015 (予想)
売上高	5,098	5,187	5,457
営業利益	153	147	163
経常利益	151	145	152
当期純利益	94	3	80
総資産	6,167	6,254	—
純資産	1,553	1,600	—
自己資本比率 (%)	24.6	25.0	—

財務の状況

総資産

のれんの償却による無形固定資産の減少等があった一方、投資有価証券の評価差額が増加したため、前連結会計年度末と比較して86億円増加し、6,254億円となりました。

負債

短期借入金の減少等があった一方、長期借入金、社債の増加等があり、前連結会計年度末と比較して40億円増加し、4,654億円となりました。

純資産

期末配当の実施による減少等があった一方、その他有価証券評価差額金、為替換算調整勘定の増加等によって、前連結会計年度末と比較して46億円増加し、1,600億円となりました。

損益の状況

売上高

国内酒類事業でのビール類や食品・飲料事業での海外飲料の売上数量が前期より増加したことに加え、為替の影響もあったことから、前期と比較して89億円増収となりました。

営業利益

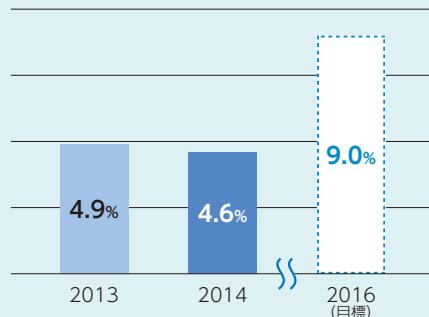
国内酒類事業での増益と食品・飲料事業での大幅な増益はありましたが、国際事業及び不動産事業の減益のため前期と比較して6億円の減益となりました。

当期純利益

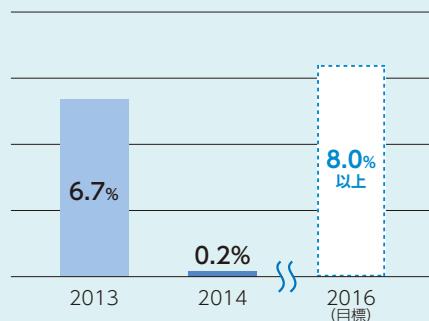
特別利益に固定資産売却益を35億円計上しましたが、特別損失に国内酒類事業で「サッポロ 極ZERO」の税率適用区分を自主的に修正申告したことに伴う酒税納付額の差額116億円を計上したこともあり、前期と比較して91億円の減益となりました。

■ サッポログループ新経営構想における経営指標

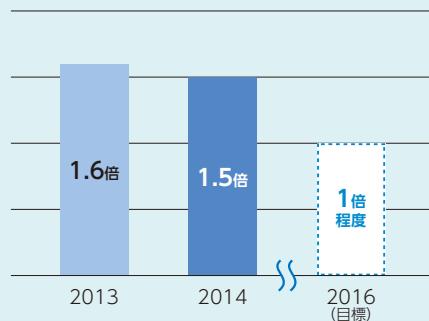
営業利益率 (のれん償却前・酒税抜き)



ROE*1



D/Eレシオ*2



*1 ROE: 自己資本利益率 *2 D/Eレシオ: 負債資本倍率

会社情報 / 株式情報 (2014年12月31日現在)

■ 会社概要

商号	サッポロホールディングス株式会社 SAPPORO HOLDINGS LIMITED
設立	1949年9月1日(創業明治9年)
資本金	53,886,649,941円
事業内容	持株会社
連結対象会社数	45社(連結子会社42社、持分法適用会社3社)
従業員数	112名(グループ従業員数:7,014名)
本社	〒150-8522 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番1号 (恵比寿ガーデンプレイス内)

■ 株式の状況

発行済株式総数 …… 393,971,493株

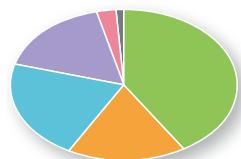
株主数 …… 53,535名

■ 大株主 (上位10名及びその状況)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	20,937	5.31
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	18,995	4.82
資産管理サービス信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ信託銀行口	12,212	3.10
日本生命保険相互会社	11,146	2.83
明治安田生命保険相互会社	10,434	2.65
農林中央金庫	9,375	2.38
株式会社みずほ銀行	9,032	2.29
丸紅株式会社	8,246	2.09
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社	7,970	2.02
大成建設株式会社	7,000	1.78

※ 上記大株主の状況は株主名簿によっています。

■ 所有者別株式分布状況



金融機関	162,254千株 / 41.18%
外国法人・個人	67,014千株 / 17.01%
個人	83,791千株 / 21.27%
国内法人	66,619千株 / 16.91%
証券会社	9,942千株 / 2.52%
自己株式	4,348千株 / 1.10%

■ 役員 (2015年3月27日現在)

代表取締役社長兼 グループCEO	上條 努	
代表取締役専務	田中 秀典	
常務取締役兼 グループ執行役員	加藤 容一	サッポログループマネジメント株式会社 代表取締役社長
取締役	渡 淳二	
取締役	溝上 俊男	
取締役	野瀬 裕之	
取締役(社外)	服部 重彦	株式会社島津製作所 代表取締役会長 田辺三菱製菓株式会社 社外取締役 プラザー工業株式会社 社外取締役 明治安田生命保険相互会社 社外取締役 株式会社日本経済新聞社 社外監査役
取締役(社外)	池田 輝彦	みずほ信託銀行株式会社 顧問 株式会社エフエム東京 社外監査役
取締役(社外)	鶴澤 静	日清紡ホールディングス株式会社 代表取締役会長 日本無線株式会社 社外取締役 新日本無線株式会社 社外取締役 長野日本無線株式会社 社外取締役 株式会社日本政策金融公庫 社外取締役
常勤監査役	尾崎 聖治	
監査役	木本 健	
監査役(社外)	佐藤 順哉	石澤・神・佐藤法律事務所 弁護士 株式会社ニッキ 社外取締役 生化学工業株式会社 社外監査役 三井金属鉱業株式会社 社外取締役
監査役(社外)	杉江 和男	DIC株式会社 相談役
グループ執行役員	尾賀 真城	サッポロビール株式会社 代表取締役社長
グループ執行役員	岩田 義浩	サッポロインターナショナル株式会社 代表取締役社長
グループ執行役員	國廣 喜和武	ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社 代表取締役社長
グループ執行役員	刀根 義明	株式会社サッポロライオン 代表取締役社長
グループ執行役員	生駒 俊行	サッポロ不動産開発株式会社 代表取締役社長
グループ執行役員	平町 聡	

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
配当金受領の株主確定日	12月31日及び中間配当を実施するときは6月30日
定時株主総会	3月
単元株式数	1,000株
上場証券取引所	東京(第一部)、札幌
証券コード	2501
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社証券代行部
同連絡先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社証券代行部 (フリーダイヤル)0120-288-324 (ご利用時間:土・日・祝祭日を除く9:00~17:00) 専用ホームページ“お手続き内容”で一部届出用紙の出力ができます。 http://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/
公告方法	電子公告により行い、公告掲載場所は当社のホームページ http://www.sapporoholdings.jp/ といたします。ただし、やむを得ない事由により、電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
特別口座	特別口座とは、株券電子化前に証券会社等に口座を開設し、証券保管振替機構に株券を預託されなかった株主様の権利を保全するために、当社が上記のみずほ信託銀行株式会社に開設した口座のことをいいます。

株式事務に関するご案内

証券会社でお取引をされている株主様

お手続きお問い合わせ先	お取引のある証券会社
お手続き内容	住所変更、氏名・名称・代表者変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取り方法のご指定、相続に伴うお手続き等

特別口座に記録されている株式をお持ちの株主様

お手続きお問い合わせ先	<特別口座の口座管理機関> 左記の株主名簿管理人 (みずほ信託銀行株式会社証券代行部)
	<取次所> みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店 ※トラストラウンジでは、お取扱できませんのでご了承ください。 みずほ証券株式会社 本店、全国各支店及び営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)
お手続き内容	住所変更、氏名・名称・代表者変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取り方法のご指定、相続に伴うお手続き等
特別口座での留意事項	特別口座では、株式の売却はできません。売却するには、証券会社にお取引の口座を開設し株式の振替手続きが必要となります。 ※単元未満株式の買取・買増請求は特別口座のままでも可能です。詳しくは、左記の株主名簿管理人(みずほ信託銀行株式会社証券代行部)にお問い合わせください。

※未払配当金のお支払いにつきましては、両株主様ともに上記の取次所が承ります。
※未払配当金のお支払いのうち、配当金領収証でのお受け取りにつきましては、上記取次所に加え、株式会社みずほ銀行の本支店でも承ります。

ホームページのご案内

当社のホームページでは株主の皆様に対して、IR情報や決算情報をはじめとした情報開示を行っていますので、ぜひご利用ください。

また、当ホームページから各事業会社のホームページサイトへ入ることができます。



<http://www.sapporoholdings.jp/>



<http://www.sapporoholdings.jp/ir/>

第91回 定時株主総会決議ご通知

平成27年3月27日開催の当社第91回定時株主総会において、下記のとおり報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

記

報告事項

1. 第91期(平成26年1月1日から平成26年12月31日まで)事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第91期(平成26年1月1日から平成26年12月31日まで)計算書類報告の件
本件は、上記内容を報告いたしました。

決議事項

第1号議案 剰余金の配当の件

本件は、原案のとおり承認可決され、期末配当は1株につき7円と決定いたしました。

第2号議案 取締役9名選任の件

本件は、原案のとおり、取締役に上條努、田中秀典、加藤容一、渡淳二、溝上俊男、服部重彦、池田輝彦の7氏が再選され、新たに、野瀬裕之、鵜澤静の2氏が選任され、それぞれ就任いたしました。
なお、服部重彦、池田輝彦、鵜澤静の3氏は、社外取締役であります。

第3号議案 監査役2名選任の件

本件は、原案のとおり、監査役に尾崎聖治、木本健の2氏が選任されました。

第4号議案 補欠監査役1名選任の件

本件は、原案のとおり、補欠監査役に矢田次男氏が選任されました。なお、同氏は社外監査役の補欠監査役として選任されております。

以上

第91回 定時株主総会における 議決権行使結果について

決議事項に対する、賛成、反対の意思表示に係る議決権の数、結果等については当社ウェブサイト(<http://www.sapporoholdings.jp/>)でご覧ください。

CM 紹介



「100年プレミアムブランド。」

エビスビールは本年、発売から125周年を迎えます。

エビスビールは、100年以上続く日本を代表するプレミアムビールブランドとして発売当初より高品質な味わいを追求し、使用する原材料・製法を長年にわたり磨いてきました。また、中味以外でも高品質に相応しいブランドイメージの醸成を進めてきました。より良いものを求める時代だからこそ、エビスが最高品質を目指して取り組んできたこだわりを、品質を訴求する広告展開を始め、商品・販促などの様々な顧客接点を通じてお客様にお伝えることで、今まで以上に多くのお客様にご愛飲いただけるブランドになりたいと考えています。また、エビスならではの「縁起の良さ」「めでたさ」を「ハレの日は、エビスの日。」というメインコピーを使用してお客様へのイメージ浸透を図っていきます。



発行者：サッポロホールディングス株式会社

〒150-8522 東京都渋谷区恵比寿四丁目20番1号(恵比寿ガーデンプレイス内)